

♪ みんなにこにこ！笑顔につながる おてつだい♪
チームみねっぴ～の とくべつしえんだより



小さな成功体験を ともに喜び合うことを 大切に…

峰小学校の校庭の樹々が、5月の風に吹かれながら、大空に向かってぐんぐんと伸びています。

お子さまたちは、それぞれのめあてに向かい、異学年や同学年の子どもたちや学級学年をはじめとする支援者との関わり合いの中で、環境の変化のあった学校生活をがんばって過ごしているところです。

毎日、心身の健康を保ちながら学校生活を送ることができるようにと、お子さまのご様子に応じた食事や睡眠、衣服調整等のサポートなど、各ご家庭でのご配慮等に感謝申し上げます。

子育ての日々では、多かれ少なかれ、お子さまのご様子で心配になられることもあるのではないのでしょうか。そこで、今回は、「NPO法人えじそんくらぶ代表の高山恵子先生」の「子育てストレスを減らすヒント」の資料から、「子どもには、『変わりやすいところ』と『変わりにくいところ』があること」という内容の一部をご紹介します。それぞれ違うお子さまたちが、小さな成功体験を実感しながら「自分に合ったうまくいくやり方」を見つけ、自信をもって生活できたらいいですね。大人である私たちが、常にいくつかの視点を持ちながら、お子さまの目線に立って関わっていくことで、よりよい成長を促すきっかけとなることがあるようです。子育ての日々においての一助となりましたら幸いです。

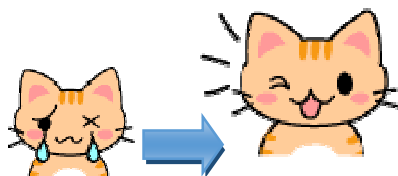


ヒント1 ♪ お子さまは、一人一人 ちがいます ♪

「変わりやすいところ」と「変わりにくいところ」があるという視点を持ち、お子さまの様子を把握していきましょう。お子さまが「自分に合ったうまくいくやり方」を自覚していけるようなサポートをしましょう。

★「変わりやすいところ」⇒ 失敗しても「よくがんばったね。」とねぎらってもらい「自分が大切にされている」という安心感の中で、お子さま自身が、「できた！わかった！」と実感できる「日々の小さな成功体験」を大切にしていきましょう。

★「変わりにくいところ」⇒ もともと「できること」と「できないこと」に、大きなアンバランスがある子や発達がゆるやかな子があります。



お子さまのことで、何か気がかりなことがありましたら、まずは、学級担任や学年主任に、学校でのお子さまのご様子をお尋ねください。また、スクールカウンセラーや特別支援コーディネーターへのご相談だけでなく、子育ての悩みについては、市教育センター（事前予約制）でも、相談できます。

ヒント2 ♪ 「ダメな子ね！」となる前に、お子さまの目線に立ってみると♪

【例えば…「何回言っても言うことを聞かない子」の抱えている背景として、考えられる要因には…】

- ① 自分に言われてたことか認知していない。⇒名前を呼んで、注目させてから話してみましょう。
- ② うっかり忘れている。⇒「なにをやるんだっけ？」「今は？」など思い出すきっかけとなる問いかけや目で確かめられる手がかりを工夫しましょう。
- ③ 言葉の意味がわからない。⇒「おかたづけ」と言葉で言いながら、実際にやってみせ、言葉と行動を結び付けて、一緒に、片付けをしてみましょう。
- ④ 注目されたくて、わざとずる。⇒叱責さえも注目されていると思ってしまうことがあります。よい行動を見つけた瞬間に注目し、タイミングよくほめましょう。